

岐阜梱包が卓球大会 サプライズ表彰も



意義を呼びかけた。段階式のトーナメントで各自が5試合を消化する競技は、年代性別を問わない真剣勝負で盛り上がりを見せ、小島製作所の石黒大教氏が連覇。2位、3位には

岐阜梱包の宮島和也氏と平木弥左夫郎氏が続き、それぞれ表彰を受けた。入賞者の表彰式に続いて、山本浩之部長から「もう一人、表彰したい人がいます」とサプライズが

発表され、この日が誕生日だという堀部社長に特別仕様の表彰状を贈呈。「あなたは明るく楽しく自由奔放な女性代表として、この日を迎えられました」との文

に包まれた。堀部社長は今大会を振り返って「健康とコミュニケーションの促進には良い機会となった」とコメント。誕生日の表彰状については「昨日はケーキをもらっている」と、実は2日連続のサプライズであることも告白。本

当にありがたいたい」と笑顔を覗かせながら、従業員らに用意した粋な計らいに、感謝の言葉を述べた。(朝妻聖一)

（レイアウト・中野秀一）

【岐阜】岐阜梱包（堀部友里社長、揖斐郡大野町）は16日、大野町民体育館で卓球大会を開催。従業員や協力会社から36人が参加した。堀部社長が開会あいさつで、「うちはメタボ傾向が強い」と懸念材料に触れた

上で、その改善に向けた運動促進に言及。「すべての人に笑顔をお届けします」という経営理念を挙げて、「健康でないと笑顔になれない。こうした運動を採り入れて、毎日が笑顔で過ごせるように」と同イベントの